

令和8年度 鳥取県産業技術センター 活動成果発表会

3研究所から、研究成果・企業支援・保有機器活用の12テーマをご紹介します。

本年度も、一定期間いつでも視聴できる**動画配信形式**での開催で、ご都合のよい時間に何度でもご覧いただけます。
異分野の技術や取り組みの中にも、課題解決のヒントが見つかるかもしれません。
ぜひ幅広いテーマをご覧いただき、産業技術センターの活用をご検討ください。

動画配信・参加無料

動画配信期間

開催期間中、ご都合がよい時間に何度でも視聴できます！

令和8年 12月3日（木）～令和9年 1月29日（金）

発表テーマ一覧

3つの研究所から 12の取り組み

詳しい内容は裏面をご覧ください

電子・有機素材 研究所

電気電子、有機材料に関する
「ものづくり技術」に係る
支援を行っています

- 01 生成AI活用で作成した画像処理アプリによるベニヤ板の検査工程省力化
- 02 異物や不良分析に活用できる分析機器と事例の紹介
- 03 環境配慮型有機材料研究会における製造工程端材のリサイクル活用事例の紹介
- 04 ノーコード画像処理AIアプリケーションの開発

機械素材研究所

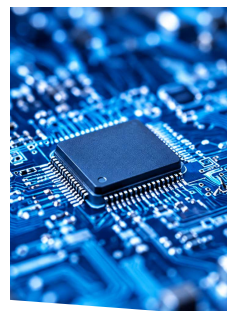
機械・金属分野での
素材から加工まで
「ものづくり技術」に係る
支援を行っています

- 05 掴み状態で部品の姿勢変換を可能とするロボットハンドの開発
- 06 医療向け混注作業を自動化する小型ロボットシステムの開発
- 07 非接触3次元計測からリバースエンジニアリング、CAE解析まで一気通貫の技術支援
- 08 深層学習を活用した鋳鉄のミクロ組織画像からの機械特性予測

食品開発研究所

農畜水産物の加工や
機能性食品、発酵食品等の
支援を行っています

- 09 次世代を担う酒類製造者の支援事業の紹介
- 10 オーダーメイド型技術者育成事業を活用した機能性表示食品の開発事例
- 11 風味改変等による酒粕を使った新たな製品開発事例
- 12 食品の高付加価値化に活用できる液体クロマトグラフ質量分析計の紹介



申込書

申し込み先▶ FAX: 0857-38-6210 Mail: tiitdenshiyuuki@tiit.or.jp

企業名

電話番号

所属・役職・氏名

メールアドレス（必須）

申込期限：令和9年1月20日（水）

Web申込

申込フォームは
こちら



当センターホームページの申込フォーム https://tiit.or.jp/3202/5450/r8_houkokukai/r8form/

【お問い合わせ先】各研究所の担当者までお電話でお問合せください



電子・有機素材研究所（鳥取市）
担当：山根 知之（0857-38-6200）

機械素材研究所（米子市）
担当：亀崎 高志（0859-37-1811）

食品開発研究所（境港市）
担当：梅林 志浩（0859-44-6121）

発表テーマ一覧

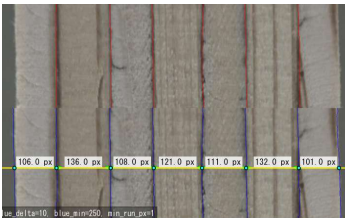
3つの研究所から12の取り組みをご紹介します

電子・有機素材研究所

先端技術と分析力で、新たな価値の創出を支援します

01 生成AI活用で作成した画像処理アプリによるベニヤ板の検査工程省力化

カメラ・照明条件設定、検査用GUIまで、生成AIを活用しながら内製化。ベニヤ板の外観検査工程を自動化・省力化した事例です。導入構成や検査精度、現場運用の工夫についてご紹介します。



区分：企業支援事例
発表者：山根 知之

02 異物や不良分析に活用できる分析機器と事例のご紹介

FT-IR（下画像）やGC-MSなどの分析機器を用いた異物・不良原因の解析事例をご紹介します。機器の特徴とともに、実際の分析プロセスや活用のポイントを分かりやすく説明します。



区分：保有機器・活用事例
発表者：石賀 慎

03 環境配慮型有機材料研究会における製造工程端材のリサイクル活用事例の紹介

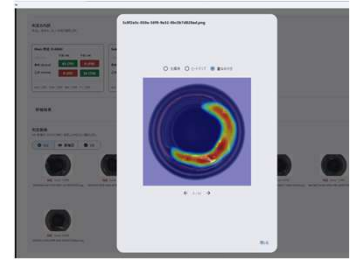
製造工程で発生する部材や端材を再資源化し、有効活用するための共同試作事例を紹介します。環境配慮型有機材料研究会での取り組みとして、リサイクル技術の可能性をお伝えします。



区分：企業支援事例
発表者：山本 智昭

04 ノーコード画像処理AIアプリケーションの開発

画像データベース管理からAIモデル作成、検査実行までを、プログラミングなしで行える画像処理AIアプリケーションの開発事例です。現場導入のしやすさを重視した仕組みを紹介します。



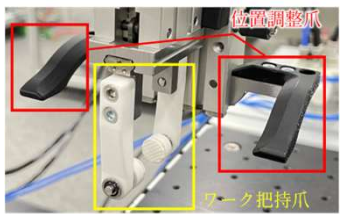
区分：企業支援事例
発表者：福留 祐太

機械素材研究所

ものづくりの基盤技術で、企業の開発・生産を支援します

05 掴み状態で部品の姿勢変換を可能とするロボットハンドの開発

部品を一定間隔の把持状態にしたまま、狙った姿勢へ自在に変換できるロボットハンドを開発し、組立工程や自動化ラインでの省力化を目指した事例を紹介します。



区分：研究成果
発表者：高濱 元史

06 医療向け混注作業を自動化する小型ロボットシステムの開発

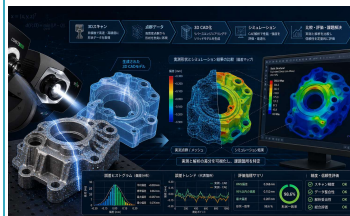
点滴バッグの混注作業を自動で行う、小型ロボットシステムの試作事例です。医療現場の負担軽減やヒューマンエラー低減につながる自動化技術を紹介いたします。



区分：研究成果
発表者：吉田 裕亮

07 非接触3次元計測からリバーシエンジニアリング、CAE解析まで一気通貫の技術支援

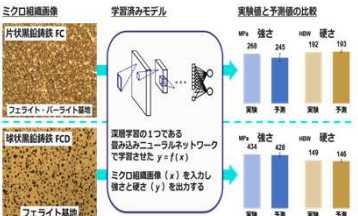
非接触3次元計測からCADデータ化、CAE解析までを一貫して支援する技術サービスを紹介いたします。既存部品の再設計や性能評価に役立つ活用事例を取り上げます。



区分：保有機器・活用事例
発表者：佐藤 崇弘

08 深層学習を活用した鉄のミクロ組織画像からの機械特性予測

鉄のミクロ組織画像を深層学習で解析し、機械特性を予測するとともに、特性に影響する着目部位を可視化する方法を紹介いたします。材料設計や品質評価への応用例も示します。



区分：研究成果
発表者：田中 俊行

食品開発研究所

食の研究と技術支援で、豊かな食産業の未来に貢献します

09 次世代を担う酒類製造者の支援事業の紹介

令和7、8年度に実施した清酒官能評価研修、品質管理研修や造り手同士の学びと交流を狙った次世代と酒造ゼミ等の支援事例を紹介します。



区分：企業支援事例
発表者：井田 昌孝・仁木 大輔

10 オーダーメイド型技術者育成事業を活用した機能性表示食品の開発事例

センター事業を活用し、食品形態の機能性表示食品の届出を達成され、製品化された企業の支援事例を紹介します。



区分：企業支援事例
発表者：杉本 優子

11 風味改変等による酒粕を使った新たな製品開発事例

酒粕のアルコールと風味を低減し、新たな食品へと生まれ変わらせた技術を中心に、酒粕の活用方法について紹介します。



区分：研究成果
発表者：山川 三穂

12 食品の高付加価値化に活用できる液体クロマトグラフ質量分析計の紹介

液体クロマトグラフ質量分析装置を中心に、原理と実践的な分析事例を紹介します。



区分：保有機器・活用事例
発表者：梅林 志浩